

市営住宅の現況と
今後の考えについて



弓座 秀之 議員

質問…入居状況から見る適正な戸数について伺います。

答弁…本市の市営住宅の状況は、団地数が11団地で114棟735戸を管理しており、その内、政策空き家として入居者の募集を行っていない団地は4団地73戸になっています。入居状況は、2月末現在、入居率が90%を超えており、かつ入居希望者が入居できない状況とはなっていない

ため、現在の戸数は適正であると考えています。

質問…市営住宅等整備基準から見た現況について伺います。
答弁…平成25年3月に、市営住宅及び共同施設の整備に関する基準を定める条例を制定しましたが、本市の市営住宅は、この条例制定前に建設されたもので高齢者や障害者に配慮したバリアフリー化や簡易耐火構造、雑

排水の処理、水洗便所化など現在の基準に合致していない所があり、今後の課題であると考えています。

質問…老朽化の進んだ市営住宅の今後の対応について伺います。
答弁…経年劣化により大規模修繕が困難な4団地は入居者を募集せず、将来的には建てかえ、又は用途廃止なのか適切な時期に判断していきます。

一般質問



鈴木 央 議員

消防団員の装備の
充実について

質問…消防団員の装備の充実に対する新年度の予算措置について伺います。

答弁…消防団員の装備の充実は、地域防災力の向上と消防団員の安全を図るため重要と認識しています。消防団員の個人装備としては、アポロキャップ、活動服及び踏み抜き防止板入りゴム長靴を入団時に貸与しています。分団各部の装備は、防火衣、手

袋、頭部のほか首や襟を保護するしころつきヘルメット及び膝カバーつき踏み抜き防止板入りゴム長靴各6セットを配備しています。また、ゴム長靴については、劣化により使用できなくなった場合は、その都度更新しています。防火衣等の経年劣化や消防団の装備の基準及び消防団員服制基準が改正されたことにより、平成29年度当初予算に

消防団員の災害現場活動時における安全を確保するため、各装備を更新する経費を計上しました。具体的に更新する装備の内容は、消防団員個人に対し、踏み抜き防止板入りゴム編み上げ靴、ヘルメット及び作業用革手袋を貸与し、また分団各部に対しては防火衣、手袋、しころつきヘルメットを全て更新します。